



大平洋金属株式会社  
2019年3月期 中間決算説明会

2018年11月20日

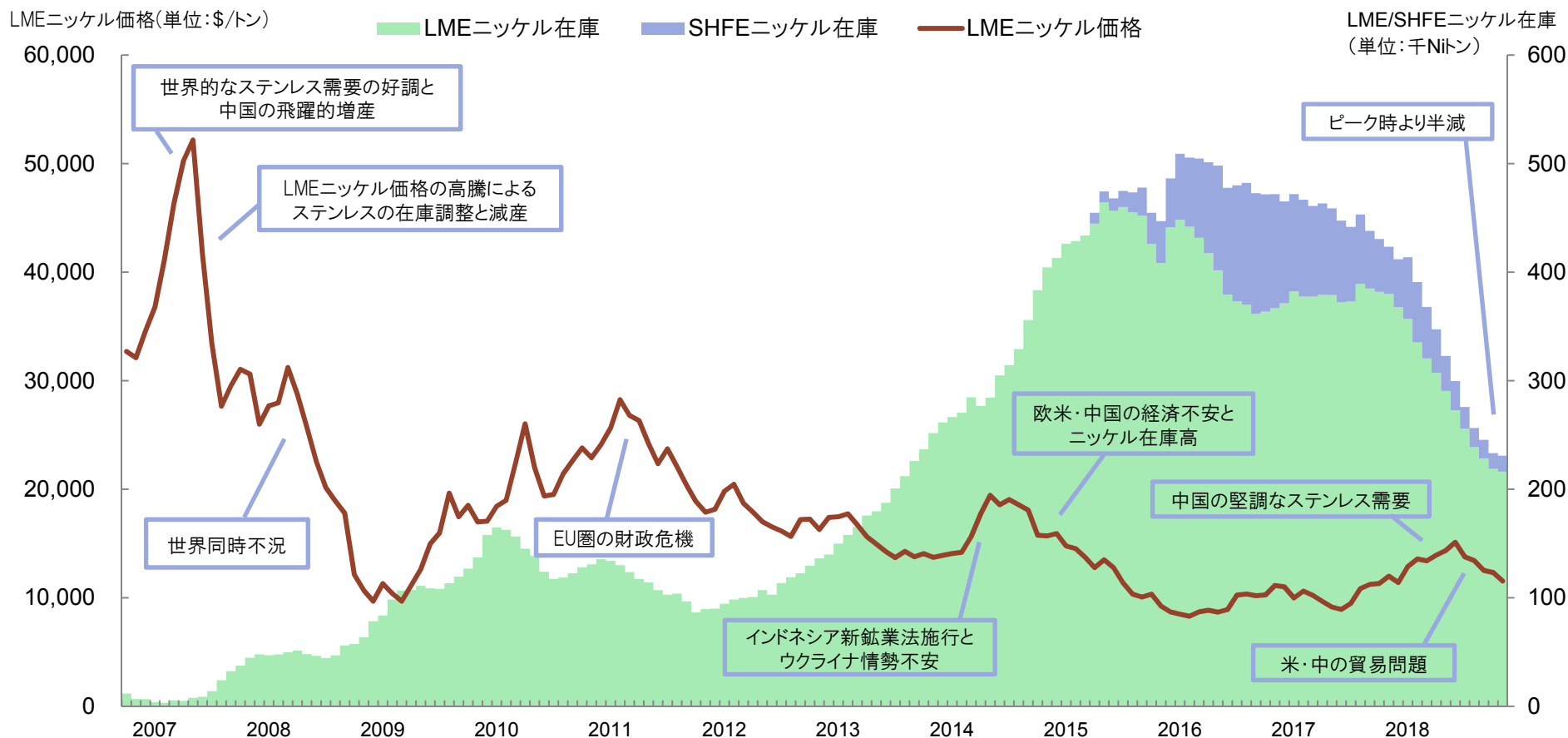


お問合せ先：総務部(IR担当) 03-3201-6681  
ホームページ：<https://www.pacific-metals.co.jp>

<b>I. 経営環境について</b>	
1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	4
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	5
3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	6
4. NPI生産の動向	7
<b>II. 19.3期 中間決算</b>	
1. 中間決算実績	9
2. 連結経常損益分析	10
<b>III. 19.3期 通期見通し</b>	
1. 通期決算見通し	12
2. 国別販売先の動向	13
3. 国別販売見通し	14
4. 連結経常損益分析	15
<b>IV. 中期経営計画「PAMCO-30」の進捗状況</b>	
1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況	17
2. 経営課題への取り組み ～鉱石調達について～	18
3. 経営課題への取り組み ～資本政策について～	19
4. 経営課題への取り組み ～ESGへの取り組み状況について～	20
<b>【参考データ】中期経営計画「PAMCO-30」と実績値(見通し値)との比較</b>	21

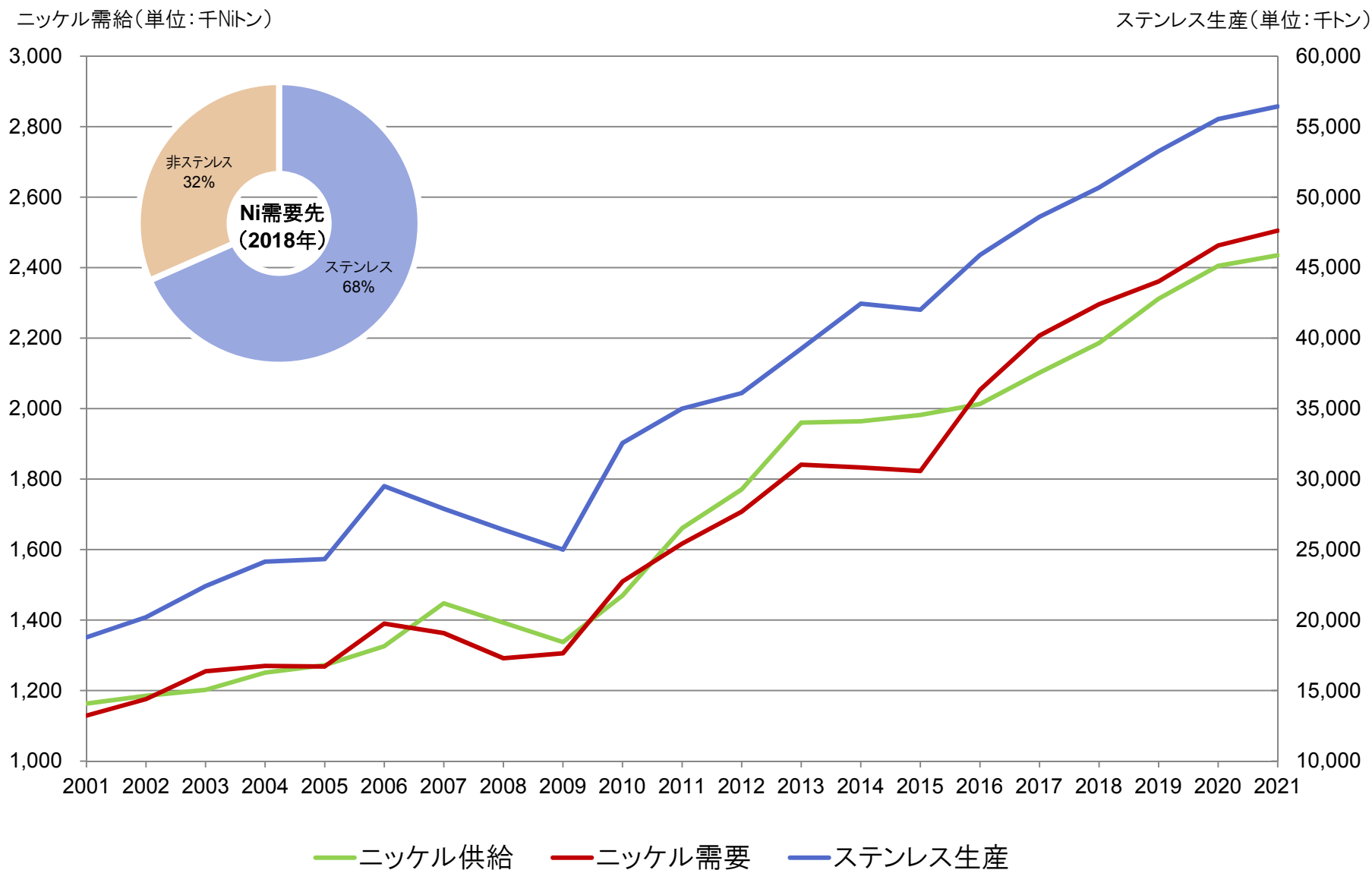
# I 経営環境について

## 1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移



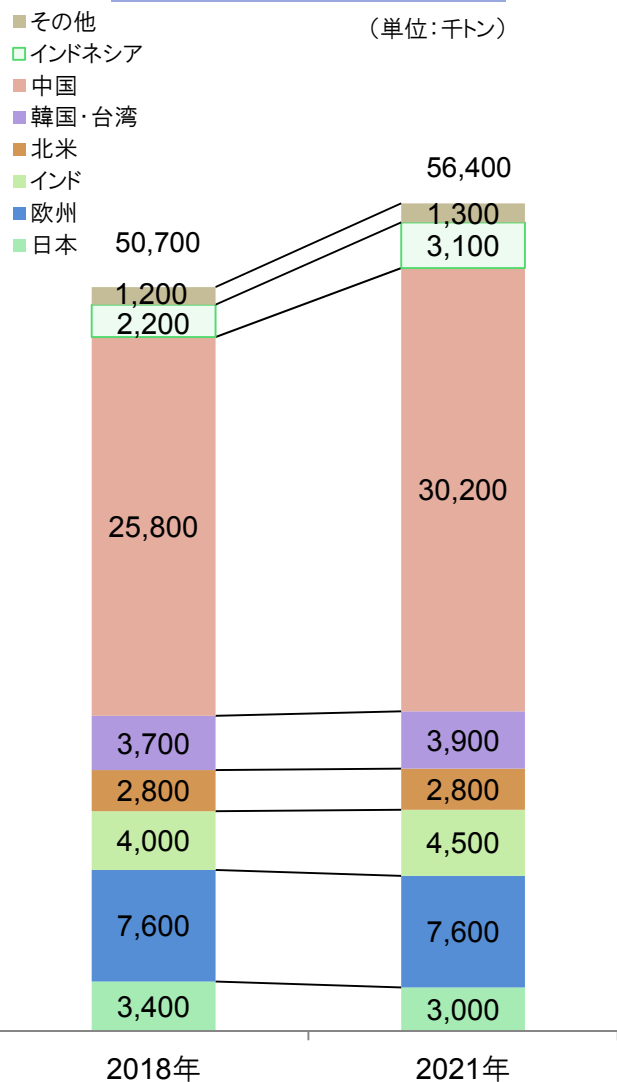
業績の推移	08.3	09.3	10.3	11.3	12.3	13.3	14.3	15.3	16.3	17.3	18.3
売上高 (百万円)	116,420	72,976	58,490	74,786	48,330	58,489	56,408	61,225	47,649	38,697	41,210
営業利益 (百万円)	52,251	16,169	11,774	18,495	154	2,168	△4,080	△7,788	△15,358	△3,070	△3,239
経常利益 (百万円)	56,315	18,388	13,441	20,768	3,524	4,921	△1,839	△92	△12,284	△516	△203

## 2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

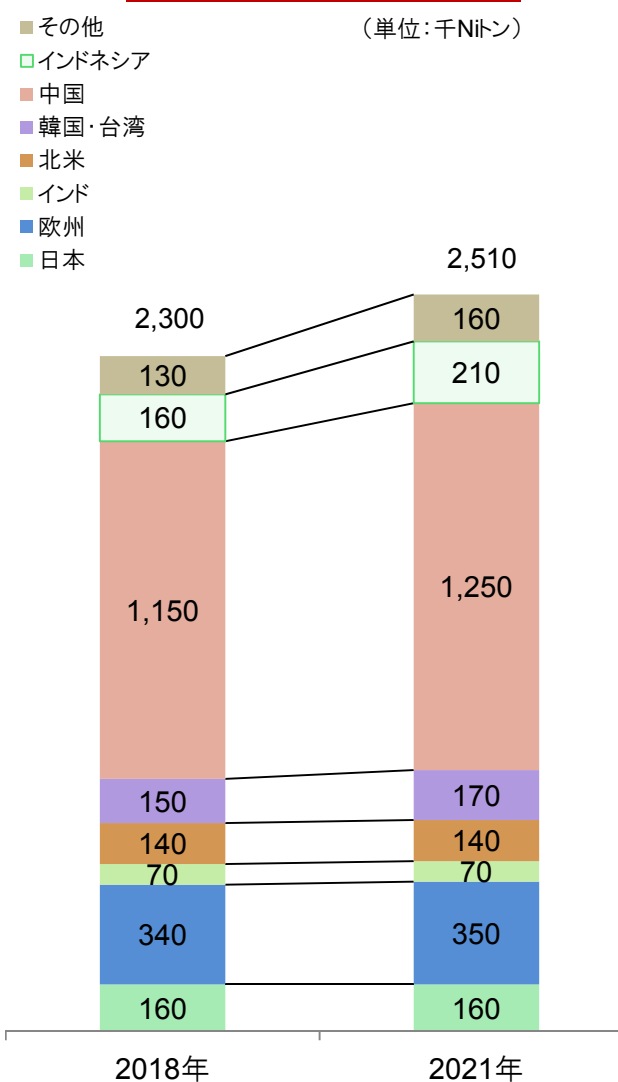


## 3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

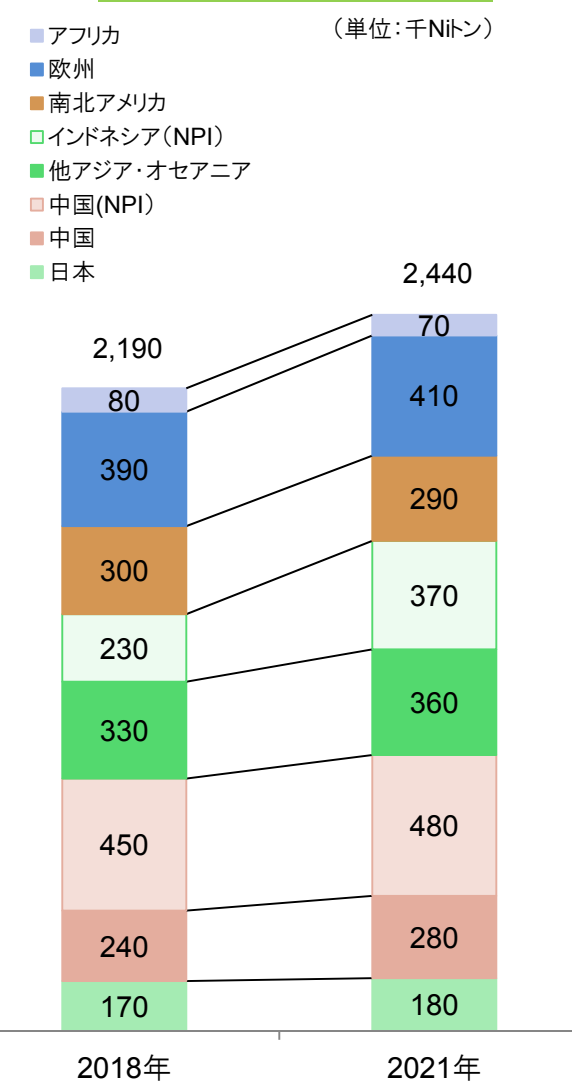
### ステンレス生産見通し



### ニッケル需要見通し

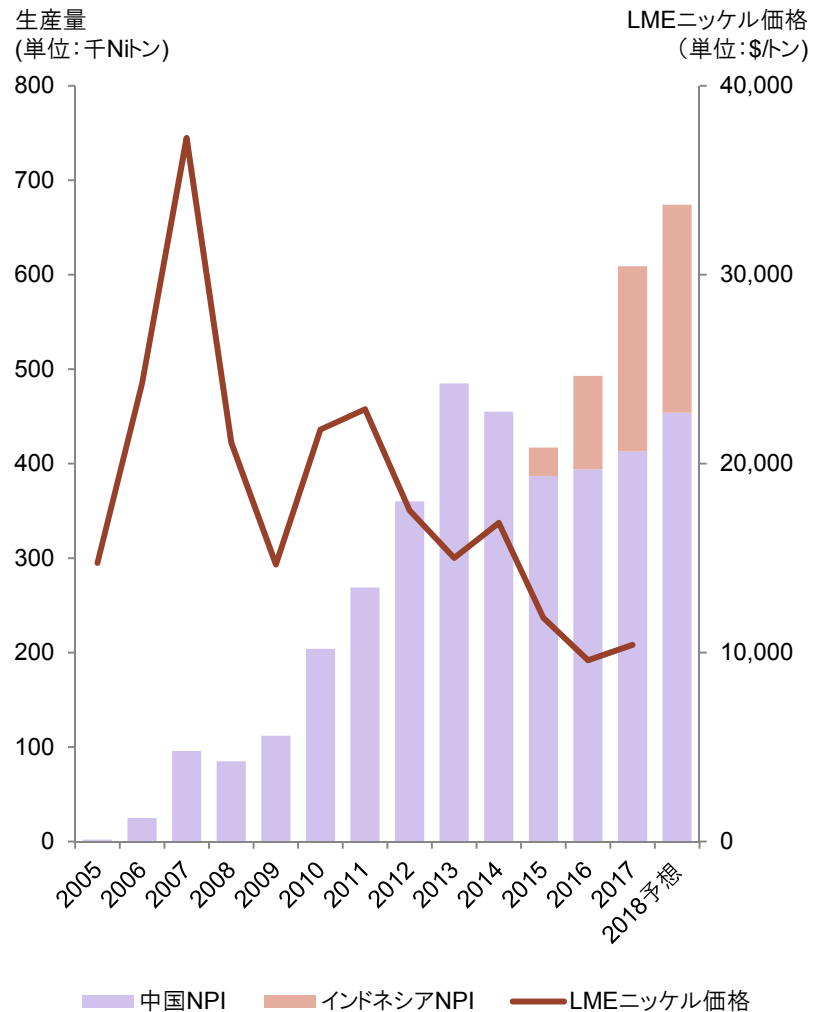


### ニッケル供給見通し

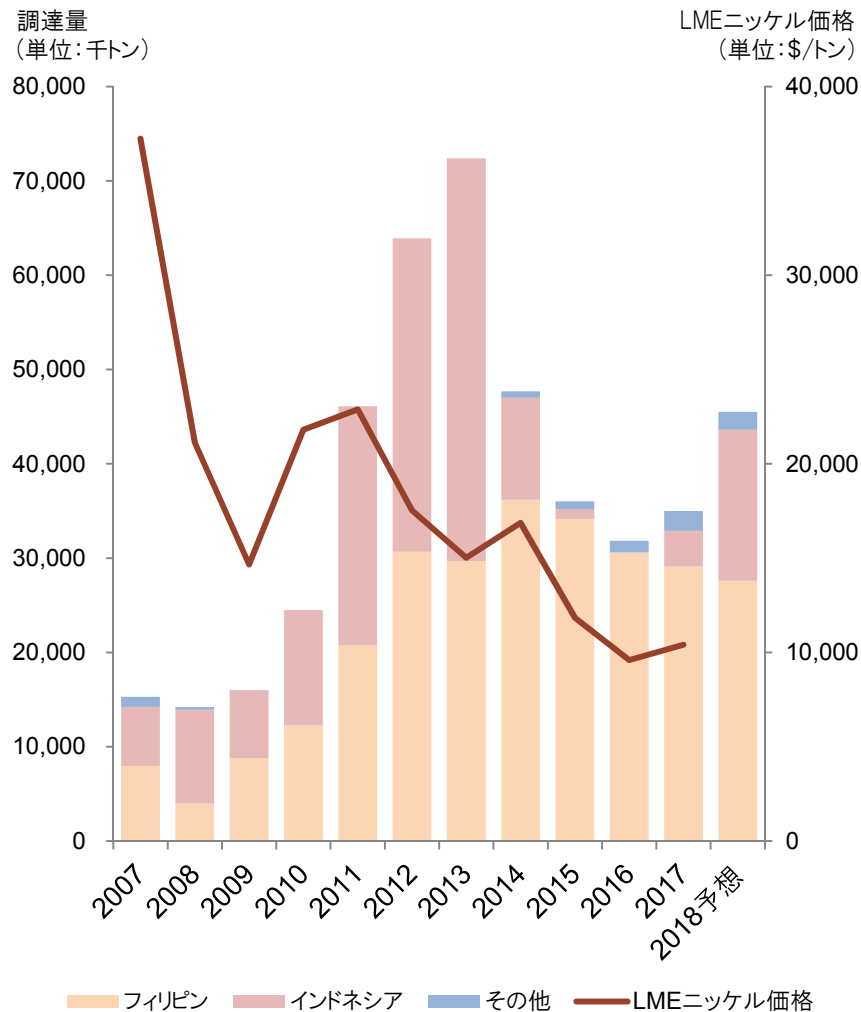


## 4. NPI生産の動向

### NPI生産量の推移



### 中国のNi鉱石調達量の推移



## Ⅱ 19.3期 中間決算



## 1. 中間決算実績

### 【概要】

(単位:百万円、%)

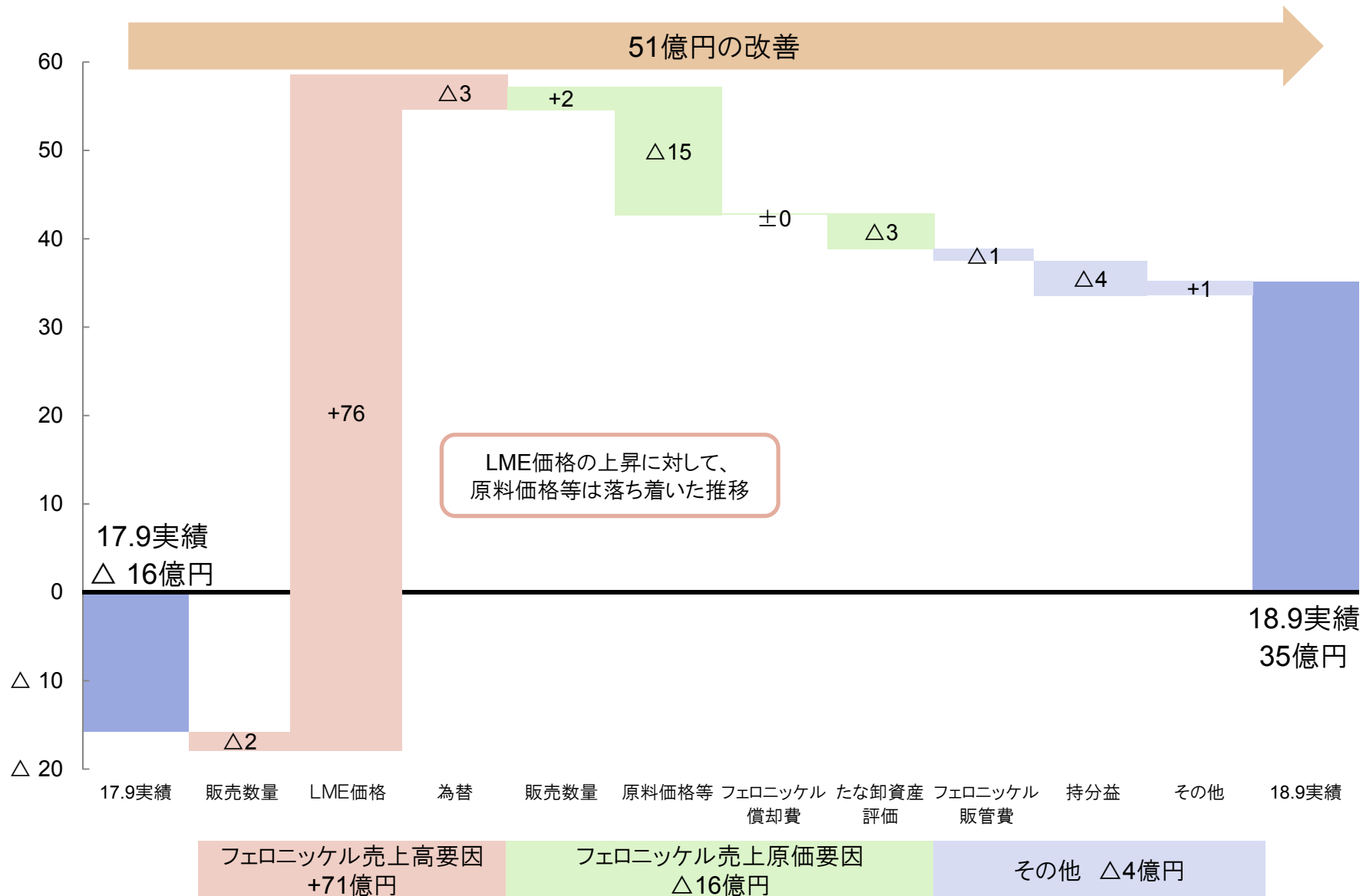
	17.9実績		18.9予想 (8/3発表)		18.9実績		対 前年同期比	対 8/3発表 予想比	トピックス
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率			
売上高	19,178	—	26,834	—	26,178	—	36.5	△2.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原料価格 比較的落ち着いた水準</li> <li>■ LMEニッケル価格 値動き激しい中、 前年同期比で 上昇したため増収</li> <li>■ 損益 価格上昇等もあり 大幅増益</li> </ul>
営業利益	△3,467	△18.1	2,325	8.7	1,857	7.1	—	△20.1	
経常利益	△1,578	△8.2	3,428	12.8	3,513	13.4	—	2.5	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,810	△9.4	3,416	12.7	3,372	12.9	—	△1.3	
(投資額)	54	—	—	—	45	—	△16.7	—	
(減価償却費)	154	—	—	—	155	—	0.7	—	

### 【ニッケル事業】

	17.9実績	18.9予想 (8/3発表)	18.9実績	対 前年同期比 (単位:%)	対 8/3発表 予想比 (単位:%)	トピックス
生産数量(Niトン)	15,361	16,766	16,803	9.4	0.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生産数量・販売数量 引き続き、 慎重な体制継続</li> </ul>
販売数量(Niトン)	16,118	16,130	15,975	△0.9	△1.0	
適用LME(\$ / トン)	9,766	14,242	13,935	42.8	△2.2	
[適用LME(\$ / lb)]	[ 4.43 ]	[ 6.46 ]	[ 6.32 ]			
適用為替(¥ / \$)	111.17	109.14	109.81	△1.2	0.6	

## 2. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



## Ⅲ 19.3期 通期見通し

## 1. 通期決算見通し

### 【概要】

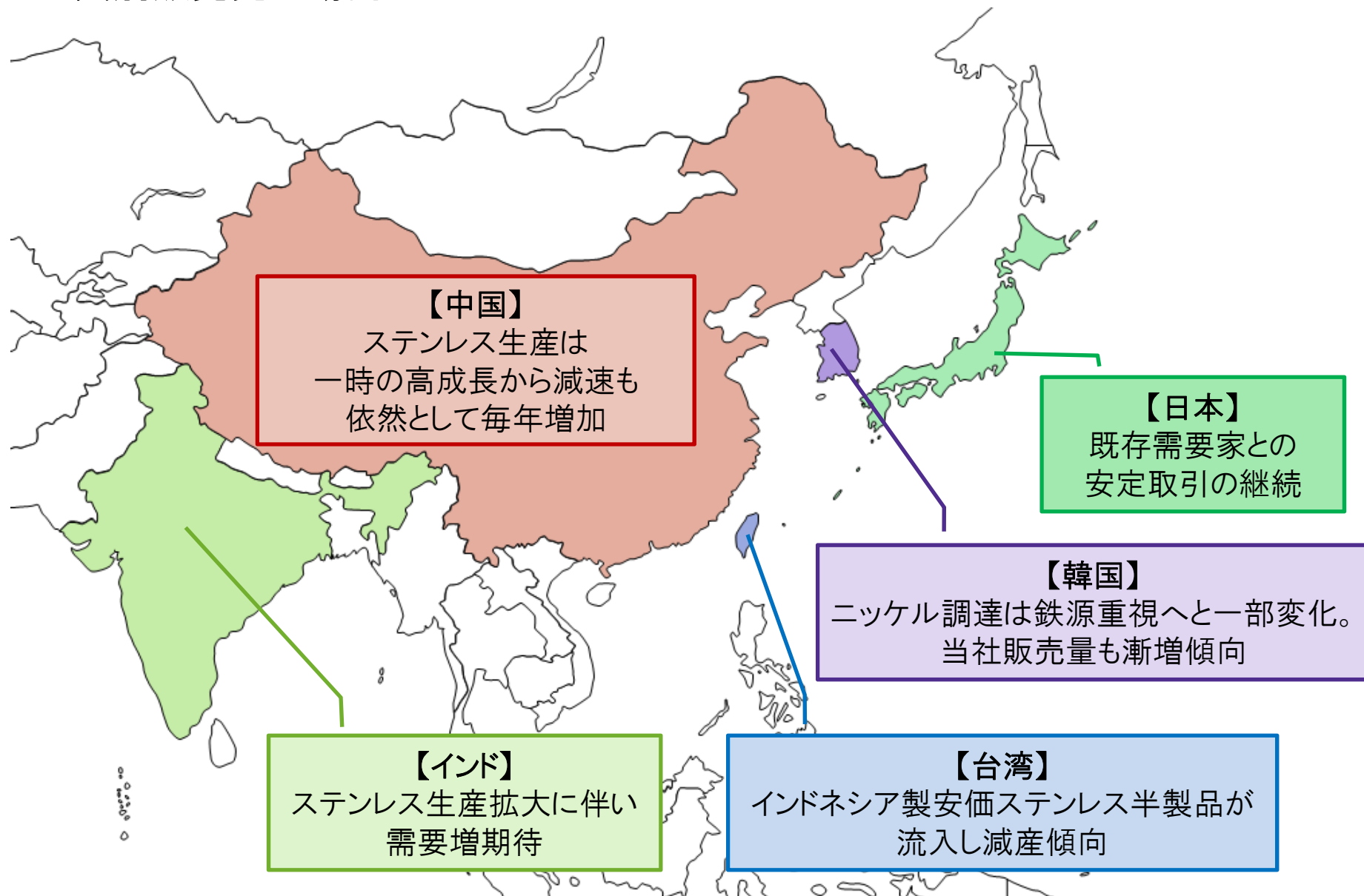
(単位:百万円、%)

	18.3実績		19.3予想 (8/3発表)		19.3通期見通し (11/13発表)		対 前期比	対 8/3発表 予想比	トピックス
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率			
売上高	41,210	—	52,245	—	51,490	—	24.9	△1.4	<p>■ 見通し</p> <p>販売は堅調。 LME価格は、不透明な動きを見せながらも、期末へ向け堅調な動きを見込む。 利益は、8/3発表値とほぼ同水準の見通し。</p>
営業利益	△3,239	△7.9	2,020	3.9	1,751	3.4	—	△13.3	
経常利益	△203	△0.5	4,342	8.3	4,260	8.3	—	△1.9	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△811	△2.0	4,237	8.1	4,217	8.2	—	△0.5	
(投資額)	259	—	—	—	308	—	18.9	—	
(減価償却費)	312	—	—	—	323	—	3.5	—	

### 【ニッケル事業】

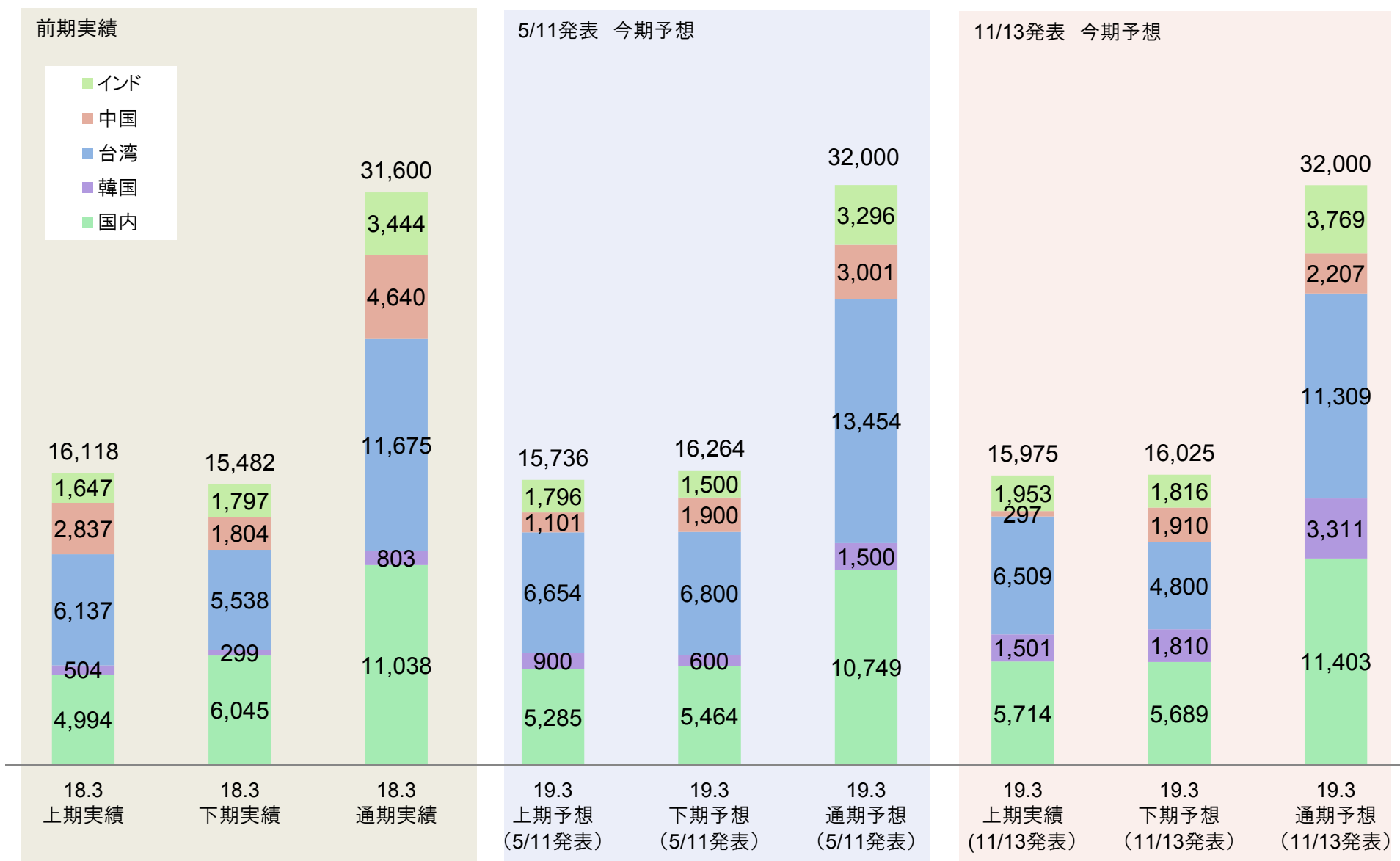
	18.3実績			19.3 予想 (8/3発表)	19.3通期見通し (11/13発表)			対 前期比 (単位:%)	対 8/3発表 予想比 (単位:%)	トピックス
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想			
生産数量(Niトン)	15,361	14,541	29,902	32,999	16,803	16,366	33,169	10.9	0.5	<p>■ 数量体制</p> <p>生産、販売ともに、 計画通りの見込み</p>
販売数量(Niトン)	16,118	15,482	31,600	32,000	15,975	16,025	32,000	1.3	0.0	
適用LME(\$ / トン)	9,766	11,684	10,692	13,845	13,935	13,188	13,561	26.8	△2.1	
[適用LME(\$ / lb)]	[ 4.43 ]	[ 5.30 ]	[ 4.85 ]	[ 6.28 ]	[ 6.32 ]	[ 5.98 ]	[ 6.15 ]			
適用為替(¥ / \$)	111.17	111.13	111.15	109.40	109.81	109.87	109.84	△1.2	0.4	

## 2. 国別販売先の動向



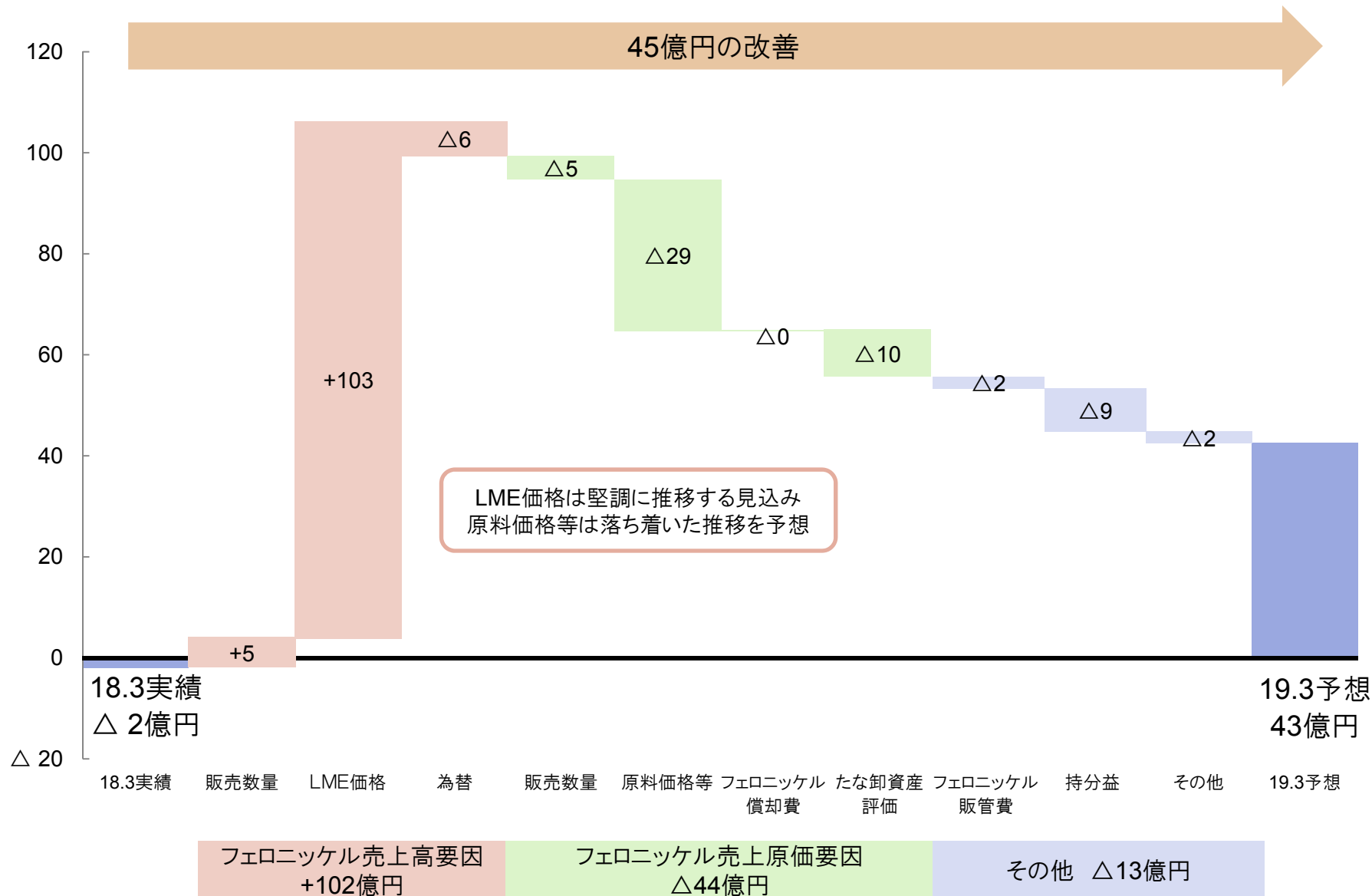
## 3. 国別販売見通し

(単位: Niトン)



## 4. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



## IV 中期経営計画「PAMCO-30」 の進捗状況



## 1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況

主な重点施策と振り返り	
フェロニッケルの 生産・販売施策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・操業の安定化による計画生産量の達成</li> <li>・高効率操業の継続</li> <li>・顧客要望品質への対応と安定した製品品質の提供</li> </ul>
ニッケル資源調達の 安定化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピン新規ソース、インドネシア鉱石の調達に向け資源国との連携強化を図り、協議を継続</li> <li>・調達・製錬コストを考慮した最適条件での鉱石調達</li> </ul>
収益性の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる方向のコスト削減策を深掘りし、さらなるコスト削減を実現</li> </ul>

基盤固めの  
総仕上げへ

「PAMCO-30」期間の18.9期までに  
約18億円のコスト削減



19.3期  
(「PAMCO-30」最終年度)

これまでの事業環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>・17.3期: 計画数量の達成・高効率操業等により業績は改善</li> <li>・18.3期: LMEニッケル価格は幾分回復し、ニッケル鉱石価格水準は低下したものの、計画ほどの業績回復基調にはなく収益性低下、生産・販売数量の調整</li> <li>・19.3期: 事業環境の改善・収益性の強化策実施により上期損益黒字化</li> </ul>

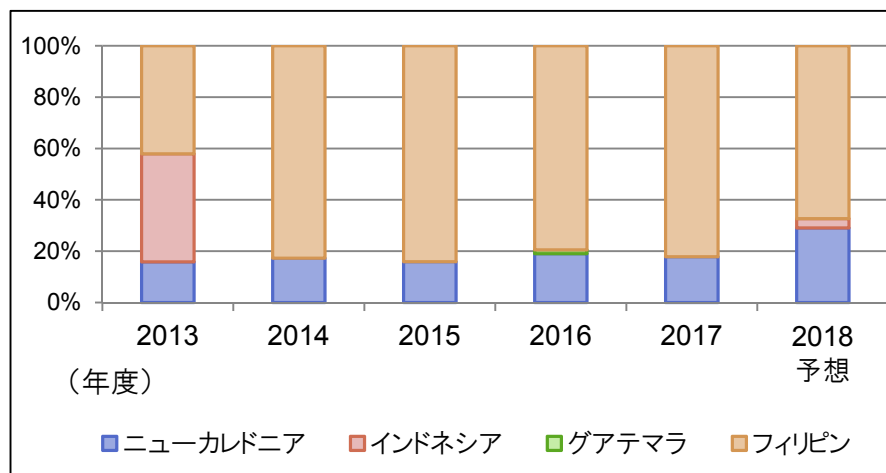
17.3期  
(「PAMCO-30」初年度)

## 2. 経営課題への取り組み ～鉱石調達について～

### 鉱石長期購入契約の状況

購入先	17.3	18.3	19.3	20.3	21.3
＜フィリピン＞ リオ・チバ社(36%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ タガニート社(33.5%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ カグジャナオ社	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜ニューカレドニア＞ モンタニア社	2016年4月～2026年3月(10年間)				
＜ニューカレドニア＞ MKM社	2014年1月～2023年12月(10年間)				

### 鉱石調達割合の動向



#### フィリピン鉱石

- 既存のソースに加えて、新規ソースからの調達も視野に

#### ニューカレドニア鉱石

- 調達数量を増加させていく基本方針を今後も継続

#### インドネシア鉱石

- 期間限定の輸出再開を受け、価格状況等を考慮しながら調達する予定

## 3. 経営課題への取り組み ～資本政策について～

### 中期経営計画「PAMCO-30」資本政策

#### 内部留保金

- 経営環境の変化に機能的に対応するための基金とするとともに、資源確保、新技術の開発、設備投資、資本政策の一環として自己株式取得、等々に活用してまいります。

#### 利益配当金

- 当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付けており、企業体質の充実・強化を図りつつ、連結配当性向30%を目処に実施してまいります。

#### 19.3期 配当について

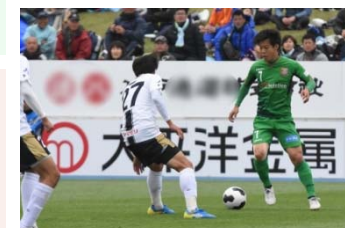
中間配当： 1株当たり 20円  
期末配当： 1株当たり 40円(予想)

## 4. 経営課題への取り組み ～ESGへの取り組み状況について～

<p><b>環境</b> Environment</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>循環型社会に向けた取り組み</b> → フェロニッケルスラグの覆土材料、土木用資材等への有効利用による全量リサイクル化</li> <li>• <b>ニッケル鉱山での植林協力</b> → 各鉱山における植林情報の共有による植林活動の推進</li> <li>• <b>省エネルギー対策</b> → 省エネ設備への改良や電気炉高温排ガスの再利用による重油およびLNG使用量を削減</li> <li>• <b>水質汚濁防止対策</b> → 循環水使用による水使用量の削減と排水終末処理による協定値超過ゼロを継続</li> </ul>
<p><b>社会</b> Society</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>東日本大震災被災地への資材供給</b> → 土木工事における資材不足を補うため、フェロニッケルスラグ製品を土木資材として供給</li> <li>• <b>地域社会との共生</b> → 地元のJFLサッカークラブチーム「ヴァンラーレ八戸」への協賛</li> <li>• <b>工場周辺や地域の清掃活動</b> → 当社工場周辺の道路沿いの清掃活動を年2回実施</li> </ul>
<p><b>ガバナンス</b> Governance</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>コーポレート・ガバナンスの充実・強化</b> → コーポレートガバナンス・コードへの対応強化および内部統制システムの構築により、ガバナンス体制のさらなる強化を目指す</li> <li>• <b>統合マネジメントシステム(IMS)の活用</b> → IMSの活用による定期的な現場監視と記録類点検による法規制遵守を強化</li> </ul>



▲当社「環境・社会報告書2018」



▲ヴァンラーレ八戸の試合風景



▲工場周辺の清掃活動

## 引き続きESGへの取り組みを積極的に継続

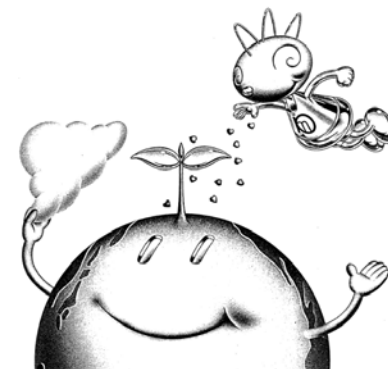
**参考資料**

- 「環境・社会報告書」  
<https://www.pacific-metals.co.jp/environment/report.php>
- 「コーポレートガバナンスに関する基本方針」および「コーポレート・ガバナンス報告書」  
<https://www.pacific-metals.co.jp/ir/governance.php>

計 画 値		PAMCO-30 17.3計画	PAMCO-30 18.3計画	PAMCO-30 19.3計画
	生産数量(Niトン)	32,885	34,893	37,270
	販売数量(Niトン)	33,000	35,000	37,000
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,722 [ 4.41 ]	12,037 [ 5.46 ]	14,132 [ 6.41 ]
	適用為替(¥/\$)	109.90	118.82	119.48
	売上高(百万円)	37,525	52,065	65,607
	営業利益(百万円)	△5,792	△1,800	2,541
	経常利益(百万円)	△4,181	552	5,964
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△4,382	192	5,286
	投資額(百万円)	920	1,997	2,712
	減価償却額(百万円)	394	409	559
実 績 値 ( 見 通 し 値)		17.3実績	18.3実績	19.3通期見通し (11/13発表)
	生産数量(Niトン)	33,101	29,902	33,169
	販売数量(Niトン)	33,100	31,600	32,000
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,877 [ 4.48 ]	10,692 [ 4.85 ]	13,561 [ 6.15 ]
	適用為替(¥/\$)	108.64	111.15	109.84
	売上高(百万円)	38,697	41,210	51,490
	営業利益(百万円)	△3,070	△3,239	1,751
	経常利益(百万円)	△516	△203	4,260
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△3,562	△811	4,217
	投資額(百万円)	269	259	308
	減価償却額(百万円)	376	312	323


# 大平洋金属株式会社



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。